



同窓会通信

第3号

2007.3.31 発行

島根県立大学同窓会事務局

Contents

巻頭言	1
同窓会役員あいさつ	2
第2回総会・懇親会報告	2
会員の窓	3
同窓会会則改正	4
大学行事報告・お知らせ	4
平成18年度事業計画・事業実績	6
同窓会役員氏名一覧	7
事務局から	7

巻頭言 学長 宇野重昭

新しい原理の同窓会の拡大を

今年の2月11日、島根県立大学の同窓会第2回大会に出席し、大きな感銘を受けた。すでに浜田だけではなく東京やその他の各地に島根県立大学の同窓会支部が生まれつつあるということである。島根県立大学がまだ第4回目の卒業生を出したばかりの若い大学であることを思うと感無量である。

当然創立期には何か新しいことをやろうという意欲的な人が多い。おそらく卒業後もその積極性の心の火を燃やし続けていることであろう。島根県立大学の場合にも、若い卒業年代の人が活躍することが期待される。

ところで同窓会といえば、とかく伝統的な共同体組織を想起する人が多い。たしかに先輩・後輩のつながりといったような宿命的な性格もある。しかし、あまり比較研究されていないことであるが、世界のどこでも、大学という組織が誕生して以来、その組織は、むしろ伝統的な社会原理とは異なった、ある意味では新しい原理のものであるという考え方がひろがっている。

つまり大学に入るといって自身が、自主・自立的なものであり、自己の選択と決断に立脚している。また生まれ育った家庭から離れて、自己決定を中心とした生活を基礎としている。さらに大学の人間関係は、自分自身がつくって、ひろげていく。あたりまえのことであるが、これはそれぞれの人生にとって、非常に新鮮なものである。それだけに、大学における新しい出会いの場面は、しばしば演劇や小説などの貴重な題材となるのであろう。

この同窓会組織は自然には発展しない。しばしば積極的な幹事役の努力に依存していることが多い。多分その時間的・労力的負担は予想以上のものがあるであろう。しかし、とくに初期の卒業生は頑張っ



同窓会役員あいさつ

会長 中谷 悠里

早春の候、みなさまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会の活動にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

私は、先日同窓会会長に就任した中谷悠里と申します。微力ながら同窓会を発展させるため努力してまいりますので、これからも変わらぬご協力をお願いしたいと思います。

さて、島根県立大学同窓会も4年目を迎え、会報も第3号を発刊することができました。これも多くのみなさまの賛助のおかげと心より感謝いたします。

3月には4期生も卒業し、みなさん夢へ向かい飛躍している最中と思いますが、県立大学のことを思い出すことも多いのではないのでしょうか。同窓会は、全国離れた場所においても繋がりを感じることができる存在でありたいと考えております。その一歩として、これまで活動している関東支部に加え、関西支部、中四国支部、九州支部の支部組織を立ち上げる予定であります。形だけでなく、参加しやすい、身近に感じる同窓会を目指し、支部の活動にも力を入れていきます。

また、去る平成19年2月11日に、第2回同窓会定期総会を開催しました。全国各地から多数参加があり、みなさんの元気な姿を見ることができました。大学時代に育んだ友情は、これからの人生を生きる上での糧になると確信しました。

島根県立大学は新しい大学で、これから歴史が続いていきます。その歴史は、私達ひとりひとりが先頭を切って活動をしていく事にかかっていると感ずます。この思いを忘れずに活動をしていきたいと思っておりますので、今後とも同窓会へのあたたかいご支援をよろしくお願いいたします。

第2回総会・懇親会報告

同窓会設立後初めての総会が、平成19年2月11日(日)浜田ステーションホテルにおいて開催されました。

宇野重昭学長をはじめ、堀内好浩キャリアセンター長、別枝行夫学生生活部長を来賓としてお招きするなど、総勢47名の参加となりました。

はじめに、児島前会長及び中谷新会長からあいさつがありました。

中谷新会長からは、「同窓会をこれからの人生の糧となるような会としていきたい。長い同窓会の歴史の1ページとなるよう会長を務めていきたいので、引き続き同窓会活動に対するご協力をお願いしたい。」と、新会長としての決意が表明されました。



続いて、来賓を代表して、宇野重昭学長より、「1期生が卒業後、同窓会がどのように運営されていくか、大変関心をもって見ていたが、今回、総会が開催され、会長、副会長など役員が新たに選任されるなど、しっかりと同窓会組織ができあがってきたと感じた。今後は、活動内容も充実した会に成長していくことを心から願っている。今回多くのみなさんが参加されたことをうれしく思う。」との祝辞をいただき、続いて、4月からの統合法人化(1)に関して、「統合法人化をきっかけにし、将来的には、現在の島根女子短期大学(松江市)や看護短期大学(出雲市)、本学の前身である島根国際短期大学の卒業生と一体となって、新しい「島根県立大学」の同窓会の仲間となり、盛り立ててほしい。」との激励がありました。

次に、事務局より、平成18年度の事業計画などが報告された後、新役員の自己紹介が行われ、総会は閉会しました。

総会終了後、堀内キャリアセンター長の乾杯のご発声により、懇親会が開始されました。

懇親会場内では、あちらこちらで、浜田の街や大学の思い出話に花が咲くなど、外の寒さを吹き飛ばすくらいの大変盛り上がった会になりました。

最後に、別枝学生生活部長に閉会のあいさつをしていただき、楽しいひとときが終了いたしました。会場前では、久しぶりの再会に名残を惜しむ姿も見られました。(文責 事務局 持田)

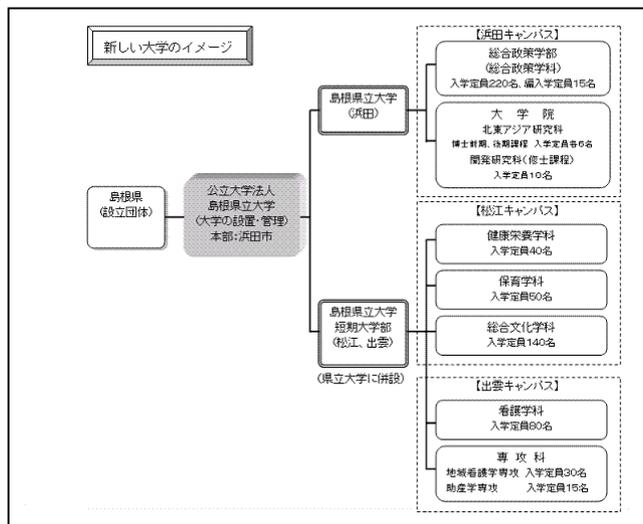




1 統合法人化

同窓会通信創刊号、第2号にて経過を報告していましたが、平成19年4月から、公立大学法人島根県立大学が新たに設立され、島根県立大学（現在の島根県立大学）及び島根県立大学短期大学部（現在の島根女子短期大学、看護短期大学を統合。男女共学）を一体的に運営します。

【公立大学法人島根県立大学のイメージ】



私の話をしますと、現在神奈川県川崎市にあります、コンピュータシステム開発の会社で営業として働いています。システム開発の会社は何をしているのか？という方もいるかと思いますが。簡単に言うと、「お客様（法人）が抱えている課題に対して、IT技術を使って解決方法を提案し、実現する」というものです。その中での営業の仕事というのは、「お客様の課題を聞き出し、解決策を提案する」というものです。22年間過ごしてきた島根を離れ、始めの頃は分からないことが多く、不安がありましたが、先輩やお客様に支えられ、日々勉強させて頂き、充実した毎日を過ごしています。（何とかやっている、というのが正しい表現でしょうか・・・？）

- 在校生へのメッセージ -

偉そうなことは言えませんが、何をするにも無駄なことは無い！と思って行動をしていくと良いと思います。他の人が無駄だと言っていたことでも、なぜ無駄なことなのかを自分自身が体験し、理解することが重要だと思います。結論を言えば、何でも体験してみてくださいということ。いつ、どこで今までの体験が生きるのか分かりません。自分の可能性を広げるためにも、より多くの経験を大学時代でしてください。

勉強は学生時代で終わりではなく、社会人になっても続きます。日々勉強する気持ちを持ち続け、自分の経験の中で無駄なものはないと思いながら生活していくことができれば良いのではないのでしょうか。私もその精神で頑張ります。皆さんの活躍を期待しております！

追伸：関東にお越しの際は、兄貴がおりますので、気軽に訪ねてみてください。

会員の窓

白根 慎介（平成16年3月卒業 神奈川県）

大学を卒業して早3年を迎えようとしております。月日の流れの早さを実感している今日この頃です。

昨年の5月より、「島根県立大学東日本同窓会」を結成し、私は会長（支部長）をさせて頂いております。関東で活躍している県立大学卒業生も多く、その仲間が年に1度集まる場ができたということは、非常に有意義なことであり、仲間の活躍を聞けることは、私自身の大きな励みにもなります。

また、社会人になって初めて関東に出た卒業生もいます（私も含めてですが・・・）ので、慣れない環境での生活に不安を持つことがあると思います。このような不安を持った卒業生には、この同窓会を「心のよりどころ」としていただければ、と思います。その中で私は「関東での兄貴」としての役割になることができればと思っています。

同窓会は、最初が肝心です。皆と共にきちんとした基盤を作り、県立大学の輪をこちらでも広げていきたいと思っています。尚、同窓会設立にあたり、多大なご尽力を頂きました、堀内教授はじめ、大学関係者の皆様には非常に感謝しております。



在京浜田会（H18.5.27） 東日本同窓会設立（H18.5.27）

市川 聖（平成18年3月卒業 浜田市）

大学院に入学して、早や一年が過ぎようとしています。しかしこの1年は、私にとって夢への大事な一歩だったように感じられます。また一方で、世界でどれほどの子供が深刻な事態に強いられているのかが実感できた一年でもありました。今私が持っている夢とは、



自分が研究したことによって発展途上で暮らす子供たちの笑顔を増やすことです。私が日々学んでいることが、将来世界に生きる子供たちへの幸せになればと思っています。

大学院生になり、私は自分の興味ある学会やシンポジウムに積極的に参加するようにしています。学会に参加すると、自分のこれまでの視野が変わるほどの刺激を受け、自分の研究に対しての励みになります。もう一つ大学院に入学して学んだことがありました。それは本を読むことの大切さです。本を読むことによって、著者の考えや社会の動きなど様々なことをよく考えるようになりました。そして大学院生として多くのことを知ろうと思っています。本を読み耽ってみると、これも自分への励みとなり、また人生が変わったようにも思えます。

在学生へのメッセージ

学部生だった頃、私は自分の生き方について悩みました。進路が決まれば、また進路を変えようといったことを繰り返しました。しかし、やっと今の夢を見つけることができました。今の研究は大学院に入学してから本格的に始めたものですが、いつも私は次のようなことを心の中においています。「夢や目標があれば、その分だけ必死になれる」と。物事についてよく考え、自分の道についてよく悩むことこそが大学時代の必須の条件だと思います。そして考え、悩むことが多ければ多いほど、自分の夢が叶ったときの喜びは大きいはずです。

同窓会会則改正

同窓会会則改正が改正されました

去る2月11日(日)に開催された同窓会理事会において、同窓会会則が改正されましたので、この内容について報告します。

改正内容は大きく2点あり、1つは、同窓会支部の規程について新たに設けた点です。

同窓会が結成され、3年が経ち、会員数も今回卒業した4期生を加えると700名を超え、ますます同窓会の組織を充実していく必要があると考えられます。

しかしながら、会員のみなさんは、全国各地で活躍中であることから、一同に会する機会だけでなく、地域毎に親睦を深めていくことも同時に求められます。

そこで、同窓会規則に支部の規程を新設し、支部を結成した場合、その活動費を同窓会予算から支出できることといたしました。

「会員の窓」にもありましたとおり、「島根県立大学東日本同窓会」が昨年5月に結成され、年1回開催される在京浜田会に併せて同窓会を開催することとしております。

大学といたしましても、在学生が就職活動をする際に、各地域で組織があることは、心強く感じると思いますので、是非、積極的に考えていただきたいと考えております。

支部の結成を考えていただきましたら、是非同窓会事務局までご連絡ください。

2点目の改正内容は、本部機能を充実させるため、理事の定員数を10名から20名といたしました。今後は、卒業期毎・支部毎に理事に就任していただき、本部との連携を深めていただきたいと思います。(文責 事務局 持田)

海遊祭・運動会開催～来年につなげていこう～

大学行事報告・お知らせ

【海遊祭】

今回で第7回目となる海遊祭が、10月14日(土)、15日(日)の2日間開催されました。2日間とも晴天に恵まれ、来場者も過去最多を記録しました。

今年の海遊祭は、メイン企画の「アメリカザリガニ」と「チョップリン」のお笑いライブの他、初めて行う企画が多数あり、来場者の方に大変喜ばれました。校内中を手作りの装飾で飾ったり、観光地でよく見かける顔出しパネルを作ったり、模擬店出店者にも協力してもらい、シールラリーを行ったりと、今までとはまた一味違った海遊祭を行うことが出来たと思います。

最後になりましたが、先輩方には様々なご協力・激励をいただき、大変ありがとうございました。これからも海遊祭がより良くなっていくためにご協力・応援よろしくお願い致します。

(文責 第7回海遊祭実行委員会 会長 松前早紀)

【運動会】

今回で、第3回目となる運動会が、10月21日(土)に開催されました。

チーム編成を学年別チームとし、昨年にも増し市内の学童保育などの子どもさんの参加をさらに呼びかけたこともあり、総勢350名もの参加となりました。



同窓会通信

第3号 2007.3.31 発行

今年は、皆で拍手賞賛できるようなそんな祭を目指そうという想いから、「拍手喝祭」というスローガンを掲げ、実行委員会を中心に取り組んできました。

競技も去年より更に工夫を凝らし、従来の伝統競技は残したまま、新競技として学年の絆が最重要ポイントとなる「20人21脚」や、小中学生の運動会競技でおなじみの「台風の目」などが新たに加わりました。

更に、新市民参加競技としては「手つなぎ鬼」さらに学生とし市民の方々がコミュニケーションを取れる形を取り、両者が手を取り合い仲良く鬼ごっこを楽しみました。

そして最後は学生のみでの大フィナーレ。ジェット風船をみんなで持ち拍手喝采でのフィナーレとなり、中には泣く人々も...

また、先輩方が取り組んでこられた成果もあり、準備の段階から、市役所や地域団体の方々と密接に連絡を取り合い、十分な協力を得ることができました。このおかげで、地域とのつながりが更に濃く、例年にも増し盛大なものになりました。

(文責 第3回運動会実行委員長 柳瀬 和範)



上2枚は海遊祭、下2枚が運動会の様子。

平成18年度・平成19年度新任教員

(肩書、担当科目は平成19年度の内容です)

いしだ かずなり
石田 和成 准教授

担当科目：コンピュータ・リテラシー、情報処理の基礎、統計数学入門、統計演習、ネットワークの基礎、プログラム入門

お 大煥 准教授

担当科目：北東アジア地域の言語と文化、異文化理解、韓国語・・・、韓国語会話・聴解

おきむら ただし
沖村 理史 准教授

担当科目：自然保護思想、国際環境政治学、環境政策論、フレッシュマンセミナー、総合演習

かいしょう ゆみこ
魁生由美子 准教授

担当科目：福祉社会論、社会学、社会保障論、フレッシュマンセミナー、地域総合研究、総合化演習

ケイン・エレナ・アン 准教授

担当科目：イングリッシュ・ワークショップ・、英語コミュニケーション・、異文化理解、英米文学リーディング、総合演習

なかひら かずひこ
中平 千彦 准教授

担当科目：経済学入門、ミクロ経済学、マクロ経済学、経済政策論、総合演習、総合化演習

ふくはら ゆうじ
福原 裕二 准教授

担当科目：朝鮮半島政治外交論、朝鮮半島社会論、日本朝鮮半島交流史、総合演習、総合化演習

さとう たけし
佐藤 壮 講師

担当科目：アメリカ近現代史、アジア近現代史、フレッシュマンセミナー、総合化演習

シェーファー・ジェフリー 講師

担当科目：イングリッシュワークショップI・、英語コミュニケーションI・、英語上級コミュニケーション、英語上級ライティング

たなか ゆきこ
田中 恭子 講師

担当科目：経営学総論、経営管理論、マーケティング論、フレッシュマンセミナー、地域総合研究

まつだ よしたか
松田 義臣 講師

担当科目：コンピュータ・リテラシー、GISの基礎、GIS演習、地域総合研究

やまだ まさし
山田 昌史 講師

担当科目：イングリッシュワークショップI・、英語コミュニケーションI・、英語上級コミュニケーション、応用英語音声学

さかべ しょうこ
坂部 晶子 助教

担当科目：社会学入門、フレッシュマンセミナー



平成18年度予算及び事業実績

収入

(単位：円)

科 目		予算額	前年度 予算額	増減	備 考
項	目				
会費		2,150,000	1,900,000	250,000	85,000円×(H18入学生250人+H18卒業生180人)
繰越金		2,707,861	1,217,410	1,490,451	
寄付金		10,000	10,000	0	
雑入		1,000	0	1,000	
合 計		4,868,861	3,127,410	1,7541,451	

支出

科 目		予算額	前年度 予算額	増減	備 考
項	目				
事業費		290,000	230,000	60,000	地域支部結成支援、在校生への進路・就職活動支援 作成費、発送費用(卒業生)
	講演会等	210,000	150,000	60,000	
	福利厚生	0	0	0	
	会報作成 会員名簿	80,000 0	80,000 0	0 0	
総会費		150,000	0	150,000	会議運営費、事務費
役員会費		1,280,000	150,000	1,130,000	会議運営費、費用弁償 会議運営費、費用弁償
	理事会費 幹事会費	350,000 930,000	150,000 0	200,000 930,000	
事務費		50,000	50,000	0	通信費・消耗品費
予備費		300,000	300,000	0	
繰越金		2,798,861	2,397,410	401,451	H17年度から、入学時に会費を一括徴収
合 計		4,868,861	3,127,410	1,741,451	

平成18年度の主な事業内容

(1) 同窓会運営に関する事業

総会1回(H19.2.11) 理事会3回(H18.9.11 H19.2.11) 幹事会1回(H19.2.11)

(2) 島根県立大学の後援に関する事業

在学生への進路・就職活動支援(キャリア形成講座での講演OB・OG訪問の受け入れなど)

・キャリア形成講座(1期生6名、2期生6名、3期生2名の計14名が出席)

OB・OG訪問受け入れ(2月28日時点 計8名受け入れ)



同 窓 会 役 員 氏 名 一 覧

会 長	中谷 悠里				
副会長	佐々木眞生				
理 事	久保田 翼	白根 慎介	谷口 正樹	藤々木正幸	朴 美洋
	松崎 幸太	門田 龍太	原田 啓佑	矢野 龍一	
監 事	大田 美江	兒島 正俊			
幹 事	岩田江身子	越中谷育未	沖津 孝明	久保 彩佳	古賀 直樹
	下手 麻子	鈴木 琢也	中塔 千鶴	錦織 悠佑	秦 幸代
	村上栄太郎	山村 涼	有田 裕也	上杉 記隆	川本 未来
	小山 学	藤江美智子	前田 啓介	三輪 香織	吉田 友香
	犬山 智靖	井上 雅博	奥井 裕介	佐々木亜弥	瀧尻 真由
	柳楽 昌広	福原 香世	屋敷あゆみ	渡邊 真悟	麻生 昌大
	江田奈津美	足立 修介	池淵 葉子	王 暁雪	大場 愛
	川上 幸祐	小池 敏弘	小林 直樹	佐藤 恵	林田 祐也
	藤村小百合	松前 早紀	松本 裕美	村山 幸平	柳瀬 和範
	渡邊 千尋				

事 務 局 か ら

今後も、年に1回程度会報を発行する予定です。卒業生の皆さんからの在学生へのメッセージなどは随時そちらへ掲載するなど考えていますので、近況などをお知らせ頂きますようお願いいたします。

なお、現在、大学のホームページに「卒業生のみなさんへ、同窓会」という項目を設け、住所変更などの登録が出来るように準備しています。ご不便をおかけしますが、当面は、現住所等の変更などがありましたら、お手数ですが事務局までメールやFAX等でご連絡をお願いいたします。

会 費 納 入 の お 願 い

島根県立大学同窓会は、平成16年3月19日に設立され、終身会費5,000円で運営されています。

既に多くの方々に、納付いただいておりますが、まだ納付いただけていない方は、下記により納付いただきますようお願いいたします。

納付方法 銀行振込

山陰合同銀行 浜田支店(支店コード043)

口座番号 普通 3607995 口座名義 島根県立大学同窓会 会長 こしま まさとし 兒島 正俊

住 所 島根県浜田市野原町2433-2

納付方法 小為替の送付(到着後、領収証を発行します)

郵便局で、5,000円分の「普通為替証書」を購入していただき、大学事務局まで郵送していただく。(受取人指定欄、受取人欄には何も記入しないでください。)

島根県立大学同窓会事務局

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2
TEL (0855) 24-2202、FAX (0855) 23-7352
E-mail career@u-shimane.ac.jp